



てんき にし ひがし
天気はなぜ西から東へうつるの

てんき か
天気は変わる

ちきゅう とりまく たいき たいようねつ ちねつ おた つよ おた
地球をとりまく大気が、太陽熱や地熱などによって暖められると、強く暖められると
と、そうでないところができます。こうして、大気に温度の差ができ、低気圧と高気圧
へと発達します。

このように、気圧の低いところと、高いところができるために、空気の流れが起こり、
これが風になるのです。

にし てんき か へんせいふう
西から天気を変える偏西風

ちきゅうじょう おお たいき なが にほん じょうくう ねん とお にし
地球上には大きな大気の流れがあります。たとえば、日本の上空では1年を通して西か
ら東に向かって風がふいていて、この風のことを、偏西風とよんでいます。緯度で30度
から60度あたりにみられます。

日本の天気が西から東に移っていくのは、
高気圧や低気圧が偏西風のえいきょうをうけ
1時間に数十キロメートルの速さで、西から
東へ移動することが多いからです。

(監修 村山貢司)

日本の上空を、偏西風がふいている

